



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 セイコーホールディングス株式会社
 コード番号 8050 URL <http://www.seiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 吉伸
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 瀧沢 観 TEL 03-6739-3111
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 平成26年3月期 第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|-------|------|-------|-------|---------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 146,572 | 1.3 | 8,659 | 42.6 | 6,755 | 80.0 | 9,609 | — |
| 25年3月期第2四半期 | 144,631 | △ 3.5 | 6,072 | 31.4 | 3,752 | 521.9 | △ 1,077 | — |

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 17,207 百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △ 410 百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 46.49 | — |
| 25年3月期第2四半期 | △ 5.89 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 364,955 | 57,499 | 15.1 |
| 25年3月期 | 355,308 | 40,801 | 11.0 |

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 55,131 百万円 25年3月期 39,013 百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | 2.50 | 2.50 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-------|-------|-------|--------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 300,000 | 5.7 | 13,000 | 135.4 | 9,000 | 177.5 | 11,000 | 99.0 | 53.23 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日（平成25年11月12日）公表いたしました「平成26年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想数値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期2Q | 207,021,309 株 | 25年3月期 | 207,021,309 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期2Q | 357,298 株 | 25年3月期 | 342,120 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年3月期2Q | 206,673,163 株 | 25年3月期2Q | 182,904,795 株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

| | |
|------------------------------|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 5 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | P. 6 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | P. 6 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | P. 6 |
| (4) 追加情報 | P. 6 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 7 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 11 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 13 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 13 |
| (セグメント情報等) | P. 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2013年4月1日～9月30日）におけるわが国の経済は、緊急経済対策効果による公共投資増、株高や消費者マインドの回復による個人消費の持ち直しや円安を追い風にした輸出回復が見られました。世界経済は、米国で自動車販売が好調さを保つなど個人消費は底堅い動きを示していますが、中国が潜在成長率を徐々に切り下げるなど、アジア経済は緩やかな成長にとどまる見通しです。一方、欧州では英国、ドイツでGDPが前期比でプラスに転じ、底打ちの兆しが見えてきました。

当社は「社会に信頼される会社であること」を引き続きグループ経営の基本理念とし、新たに当連結会計年度を初年度とする3か年計画である第5次中期経営計画を策定しました。当中期経営計画においては、「事業収益の最大化に向けてウオッチ事業を中核に事業ポートフォリオを再構築すると共に、経営基盤の質的強化を実現する」を基本方針としております。

また、当期より開示セグメントにつきましては、第5次中期経営計画の策定とともに当社における経営管理手法を変更したことにより、従来の電子部品等事業を半導体、水晶振動子、電池・材料、プリンタ、ハードディスクコンポーネントおよびカメラ用シャッター等を取り扱う電子デバイス事業と、データサービス、情報ネットワークシステム、電子辞書等を取り扱うシステムソリューション事業に区分しております。また、それぞれの事業の量的基準からウオッチ事業、電子デバイス事業およびシステムソリューション事業を報告セグメントとして開示し、クロック事業、眼鏡事業等は「その他」の区分に一括して開示しております。

当社の当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年度の第4四半期に行った科学機器事業の売却の影響があったものの、前年同期より19億円増加し、1,465億円となりました。事業別では、ウオッチ事業は国内・海外で順調に売上を伸ばし、電子デバイス事業でも半導体の受注が回復しました。一方で、システムソリューション事業は新製品開発の遅れなどにより伸び悩みました。連結全体で国内売上高は682億円（前年同期比8.6%減）、海外売上高は782億円（同11.9%増）となり、海外売上高割合は53.4%（前年同期は48.4%）となりました。利益面では、営業利益はウオッチ事業を中心に大きく伸び、前年同期を25億円上回る86億円となりました。また、営業外収支が支払利息の圧縮などで改善したことから、経常利益は前年同期を30億円上回る67億円となりました。前々年度のタイにおける洪水被害に関わる受取保険金46億円および関係会社株式の売却による投資有価証券売却益8億円など、合計で56億円を特別利益に計上する一方、賃借契約損失引当金繰入額6億円を特別損失に計上しました。これらにより法人税等および少数株主利益控除後の四半期純利益は96億円（前年同期は四半期純損失10億円）となりました。

8月にオフィシャルタイマーを担当したIAAF世界陸上2013モスクワでは、新型のスターティングブロックやLED搭載のフィールドイベントボードを新たに導入し、大会の盛り上がりにも貢献することができました。

【セグメント別の概況】

各セグメントの業績は次のとおりです。

① ウォッチ事業

ウォッチ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比126億円増加の704億円(前年同期比21.8%増)となりました。国内では、高価格帯商品である「グランドセイコー」、「クレドール」をはじめ、中低価格帯商品のレディースウォッチ「ルキア」やメンズウォッチ「ブライツ」など幅広い価格帯で売上を前年同期より伸ばしました。前期の9月に投入した世界初で唯一のGPSソーラーウォッチ「アストロン」からセイコー腕時計100周年を象徴するモデルとして創業者服部金太郎の理念を刻印した「服部金太郎特別限定モデル」を発売し、これら新製品が牽引するカタチで「アストロン」も順調に売上を伸ばしております。また、高級品3ブランド(グランドセイコー、クレドール、ガランテ)を戦略的に展開する「セイコープレミアムウォッチサロン」を当期に入り新たに4店オープンし、合計26店舗(2013年11月現在)の展開に拡大するなど差別化戦略にも引き続き力を入れております。海外では、米国で大手チェーンやデパート向け売上が好調に推移し、欧州では英国、フランス、ドイツなどで売上を伸ばしました。また、アジアでは中国で売上を前年同期より落としましたが、台湾などで売上を伸ばしました。円安効果の影響もあって、円貨換算後の売上はアメリカ、欧州、アジアそれぞれの地域で前年同期を大きく上回っております。ウォッチムーブメント販売は円安の進行により価格競争が激しくなる中、高付加価値商品の欧米大手顧客向けは順調に推移したものの、新興国市場向けの標準品が伸び悩みました。

利益につきましては、売上高の増加にともなって営業利益が前年同期比23億円増加の77億円となりました。

② 電子デバイス事業

電子デバイス事業は売上高469億円、営業利益14億円となりました。分野別には、半導体は車載向けやスマートフォン向け製品等を中心に受注が伸び、電池もスマートフォン向けの売上が好調に推移しました。プリンタは新興国向け建材市場を中心に需要が拡大しております。ハードディスクコンポーネントもタイの洪水被害の影響を受けた前年同期より売上が回復しました。

③ システムソリューション事業

システムソリューション事業は売上高104億円、営業利益80百万円となりました。決済端末関連製品の売上は新製品を中心に伸びましたが、モバイル関連は製品開発の遅れなどにより売上を落としております。

④ その他

その他に含まれる事業では、眼鏡事業、クロック事業は円安の影響により売上は増加し、また和光事業も本館や法人営業が好調に推移し、商品別ではウォッチ、ジュエリーを中心に売上を伸ばしました。一方、円安によるクロック事業のコスト増などにより営業損失1億円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

【資産・負債・純資産の状況】

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,649億円と、前年度末に比べて96億円の増加となりました。たな卸資産が52億円、繰延税金資産が8億円増加した一方、現金及び預金が24億円、受取手形及び売掛金が12億円減少したことなどにより、流動資産は21億円増加の1,590億円となっております。固定資産では、有形固定資産が15億円、投資その他の資産が61億円増加した結果、合計で75億円増加し2,059億円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金が90億円、未払金が67億円減少した一方、長短借入金45億円、電子記録債務が38億円、賞与引当金が14億円増加したことなどで、負債合計では前年度末より70億円減少の3,074億円となりました。

また、株主資本は87億円増加し、その他の包括利益累計額合計も73億円増加したことで、純資産合計は前年度末と比べて166億円増加の574億円となりました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は402億円となり、前年度末と比べて24億円の減少となりました。

これは、主として以下の要因によるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が117億円となり、減価償却費59億円など加えた一方、たな卸資産の増加39億円、仕入債務の減少41億円、未払金の減少43億円、特別退職金の支払額21億円などを控除した結果、前年同期より99億円減少し19億円のプラスとなりました(前年同期は118億円のプラス)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却13億円などの収入に対して有形固定資産の取得66億円などの支出により、49億円のマイナスとなりました(前年同期は46億円のプラス)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金の返済および借入れなどにより24億円のプラスとなりました(前年同期は132億円のマイナス)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期までは、ウオッチ事業を中心に順調に推移してまいりましたが、グローバルマーケットにおける電子デバイス事業の先行き不透明感は依然として強く、第3四半期以降では、ウオッチ事業は前回予想より売上、営業利益ともに伸ばすものの、電子デバイス事業などでは前回予想を下回る売上見通しとなりました。

修正後の業績見通しは以下のとおりです。

【通期連結業績予想】

| | 今回業績予想 | 前回 (8月9日発表値) |
|-------|---------------------|--------------|
| 売上高 | 3,000億円 (前年比 5.7%増) | 3,000億円 |
| 営業利益 | 130億円 (前年比 135.4%増) | 100億円 |
| 経常利益 | 90億円 (前年比 177.5%増) | 60億円 |
| 当期純利益 | 110億円 (前年比 99.0%増) | 50億円 |

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

| | 売上高 | | 営業利益 | |
|---------------|-------|-------|------|-----|
| | 今回予想 | 前回 | 今回予想 | 前回 |
| ウオッチ事業 | 1,450 | 1,350 | 110 | 100 |
| 電子デバイス事業 | 900 | 950 | 25 | 20 |
| システムソリューション事業 | 250 | 280 | 5 | 10 |
| 事業別合計 | 2,600 | 2,580 | 140 | 130 |
| その他 | 500 | 480 | 5 | 10 |
| 連結合計 | 3,000 | 3,000 | 130 | 100 |

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去など、連結調整後の数値です。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

連結財務情報のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、決算日が連結決算日と異なっていた連結子会社のうち、Seiko Instruments (H.K.) Ltd. 他6社については決算日を3月末日に変更し、Dalian Seiko Instruments Inc. 他5社については連結決算日に本決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎とする方法に変更しております。

これらの変更により、当第2四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの6ヵ月間を連結しております。なお、当該連結子会社の決算期変更に伴う損益については利益剰余金に直接計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 42,830 | 40,407 |
| 受取手形及び売掛金 | 43,583 | 42,326 |
| たな卸資産 | 60,638 | 65,901 |
| 未収入金 | 2,557 | 2,267 |
| 繰延税金資産 | 3,454 | 4,335 |
| その他 | 5,258 | 5,271 |
| 貸倒引当金 | △1,453 | △1,507 |
| 流動資産合計 | 156,867 | 159,002 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 101,285 | 102,255 |
| 機械装置及び運搬具 | 102,312 | 105,821 |
| 工具、器具及び備品 | 33,407 | 34,320 |
| その他 | 3,567 | 3,748 |
| 減価償却累計額 | △174,473 | △179,822 |
| 土地 | 76,148 | 76,246 |
| 建設仮勘定 | 4,817 | 6,065 |
| 有形固定資産合計 | 147,065 | 148,636 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 9,541 | 9,223 |
| その他 | 6,262 | 6,358 |
| 無形固定資産合計 | 15,803 | 15,582 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 28,191 | 34,532 |
| 繰延税金資産 | 1,786 | 1,684 |
| その他 | 8,941 | 8,671 |
| 貸倒引当金 | △3,348 | △3,155 |
| 投資その他の資産合計 | 35,571 | 41,733 |
| 固定資産合計 | 198,440 | 205,952 |
| 資産合計 | 355,308 | 364,955 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 38,840 | 29,741 |
| 電子記録債務 | 3,333 | 7,156 |
| 短期借入金 | 54,065 | 60,549 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 65,352 | 40,509 |
| 未払金 | 14,833 | 8,035 |
| 未払法人税等 | 1,416 | 2,102 |
| 繰延税金負債 | 104 | 104 |
| 賞与引当金 | 2,003 | 3,418 |
| その他の引当金 | 779 | 943 |
| 資産除去債務 | 16 | 16 |
| その他 | 14,139 | 11,842 |
| 流動負債合計 | 194,885 | 164,419 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 79,571 | 102,481 |
| 繰延税金負債 | 4,946 | 6,674 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 4,218 | 4,218 |
| 退職給付引当金 | 19,974 | 19,169 |
| その他の引当金 | 1,079 | 1,194 |
| 資産除去債務 | 338 | 341 |
| 負ののれん | 189 | — |
| その他 | 9,303 | 8,955 |
| 固定負債合計 | 119,621 | 143,035 |
| 負債合計 | 314,507 | 307,455 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,000 | 10,000 |
| 資本剰余金 | 7,414 | 7,414 |
| 利益剰余金 | 22,301 | 31,061 |
| 自己株式 | △134 | △141 |
| 株主資本合計 | 39,580 | 48,334 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,276 | 2,529 |
| 繰延ヘッジ損益 | △332 | △287 |
| 土地再評価差額金 | 7,617 | 7,617 |
| 為替換算調整勘定 | △5,575 | △3,063 |
| その他の包括利益累計額合計 | △567 | 6,796 |
| 少数株主持分 | 1,787 | 2,368 |
| 純資産合計 | 40,801 | 57,499 |
| 負債純資産合計 | 355,308 | 364,955 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 144,631 | 146,572 |
| 売上原価 | 99,804 | 96,663 |
| 売上総利益 | 44,827 | 49,909 |
| 販売費及び一般管理費 | 38,754 | 41,249 |
| 営業利益 | 6,072 | 8,659 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 116 | 71 |
| 受取配当金 | 116 | 70 |
| 受取家賃等賃貸料 | — | 266 |
| その他 | 1,255 | 887 |
| 営業外収益合計 | 1,488 | 1,295 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,508 | 2,129 |
| その他 | 1,300 | 1,069 |
| 営業外費用合計 | 3,808 | 3,199 |
| 経常利益 | 3,752 | 6,755 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | 3,418 | 4,628 |
| 投資有価証券売却益 | — | 857 |
| 関係会社貸倒引当金戻入額 | — | 122 |
| 固定資産売却益 | 1,560 | — |
| 特別利益合計 | 4,979 | 5,607 |
| 特別損失 | | |
| 貸借契約損失引当金繰入額 | — | 613 |
| 投資有価証券評価損 | 6,432 | — |
| 災害による損失 | 639 | — |
| その他 | 501 | — |
| 特別損失合計 | 7,573 | 613 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,159 | 11,749 |
| 法人税等 | 1,870 | 1,917 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △711 | 9,832 |
| 少数株主利益 | 365 | 223 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △1,077 | 9,609 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | △711 | 9,832 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 862 | 4,595 |
| 繰延ヘッジ損益 | 4 | 44 |
| 土地再評価差額金 | 283 | — |
| 為替換算調整勘定 | △1,141 | 1,370 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 291 | 1,364 |
| その他の包括利益合計 | 300 | 7,375 |
| 四半期包括利益 | △410 | 17,207 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △842 | 16,973 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 432 | 234 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,159 | 11,749 |
| 減価償却費 | 6,290 | 5,910 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △158 | △856 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △15 | △125 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 326 | △176 |
| 受取利息及び受取配当金 | △232 | △141 |
| 支払利息 | 2,508 | 2,129 |
| 為替差損益 (△は益) | 33 | 620 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △506 | 413 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △857 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 6,432 | — |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △1,560 | — |
| 受取保険金 | △3,418 | △4,628 |
| 固定資産除却損 | 248 | 35 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 2,049 | 1,446 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △6,491 | △3,945 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 6,794 | △4,135 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △164 | △4,368 |
| その他 | 797 | 1,879 |
| 小計 | 14,090 | 4,950 |
| 利息及び配当金の受取額 | 233 | 141 |
| 持分法適用会社からの配当金の受取額 | 9 | 9 |
| 利息の支払額 | △2,483 | △2,164 |
| 保険金の受取額 | 7,179 | 2,346 |
| 特別退職金の支払額 | △5,661 | △2,183 |
| 法人税等の支払額 | △1,495 | △1,194 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 11,872 | 1,904 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △7,733 | △6,608 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 8,686 | 98 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △0 | △19 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 0 | 1,326 |
| 貸付けによる支出 | △283 | △279 |
| 貸付金の回収による収入 | 334 | 449 |
| その他 | 3,638 | 90 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 4,641 | △4,941 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 264,471 | 233,672 |
| 短期借入金の返済による支出 | △265,838 | △228,404 |
| 長期借入れによる収入 | 26,300 | 49,306 |
| 長期借入金の返済による支出 | △40,266 | △51,229 |
| セール・アンド・割賦バック取引による収入 | 2,530 | — |
| 配当金の支払額 | — | △516 |
| その他 | △407 | △351 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △13,209 | 2,475 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △500 | △374 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 2,804 | △935 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 51,289 | 42,778 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △106 | △38 |
| 連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 95 | △1,507 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 54,082 | 40,296 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|------------|-------------|------------|----------|------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | ウオッチ 事業 | 電子部品等 事業 | クロック 事業 | 眼鏡 事業 | その他の 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 57,382 | 67,680 | 3,336 | 11,034 | 5,197 | 144,631 | - | 144,631 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 438 | 1,548 | 1,045 | 33 | 936 | 4,003 | △ 4,003 | - |
| 計 | 57,821 | 69,228 | 4,382 | 11,068 | 6,134 | 148,635 | △ 4,003 | 144,631 |
| セグメント利益又は損失(△) | 5,377 | 1,422 | △ 472 | 13 | △ 233 | 6,107 | △ 35 | 6,072 |

- (注) 1. セグメント利益の調整額△35百万円には、のれんの償却額△364百万円、セグメント間取引消去等841百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△512百万円が含まれております。全社費用の主なものは、親会社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 本セグメント情報等は、当第1四半期連結会計期間からの区分方法の変更前の報告セグメントに基づいて算定したものであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|------------|------------------|-----------------------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | ウオッチ 事業 | 電子 デバイス 事業 | システム ソリューション 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 69,964 | 44,510 | 10,227 | 124,703 | 21,869 | 146,572 | - | 146,572 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 475 | 2,394 | 193 | 3,063 | 2,282 | 5,345 | △ 5,345 | - |
| 計 | 70,439 | 46,905 | 10,421 | 127,766 | 24,151 | 151,918 | △ 5,345 | 146,572 |
| セグメント利益又は損失(△) | 7,714 | 1,464 | 80 | 9,259 | △ 149 | 9,109 | △ 450 | 8,659 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クロック事業及び眼鏡事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△450百万円には、のれんの償却額△347百万円、セグメント間取引消去等601百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△703百万円が含まれております。全社費用の主なものは、親会社(持株会社)に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より電子部品等事業を電子デバイス事業とシステムソリューション事業に区分しております。また、クロック事業、眼鏡事業等は「その他」の区分に一括して開示しております。

各報告セグメントに属する主要な製品及び商品は以下のとおりであります。

| 事業区分 | 主要な製品及び商品 |
|---------------|---|
| ウオッチ事業 | ウオッチ、ウオッチムーブメント |
| 電子デバイス事業 | 半導体、水晶振動子、電池・材料、プリンタ、ハードディスクコンポーネント、カメラ用シャッター |
| システムソリューション事業 | データサービス、情報ネットワークシステム、電子辞書 |
| その他の | クロック、眼鏡レンズ・フレーム、高級宝飾・服飾・雑貨品、設備時計 他 |

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を当第2四半期連結累計期間の区分方法により正確に算定するために多大な負担を要することなどから、当第2四半期連結累計期間のセグメント情報を前第2四半期連結累計期間のセグメント情報の取扱いに基づき以下のとおり表示しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|------------|-------------|------------|----------|------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | ウオッチ 事業 | 電子部品等 事業 | クロック 事業 | 眼鏡 事業 | その他の 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 69,964 | 54,738 | 3,465 | 12,195 | 6,208 | 146,572 | - | 146,572 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 475 | 2,324 | 1,306 | 35 | 926 | 5,067 | △ 5,067 | - |
| 計 | 70,439 | 57,063 | 4,771 | 12,230 | 7,134 | 151,640 | △ 5,067 | 146,572 |
| セグメント利益又は損失(△) | 7,714 | 1,602 | △ 474 | 335 | △ 15 | 9,163 | △ 504 | 8,659 |

- (注) 1. セグメント利益の調整額△504百万円には、のれんの償却額△347百万円、セグメント間取引消去等547百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△703百万円が含まれております。全社費用の主なものは、親会社（持株会社）に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。